

種目名	9 図画工作	選定替えの有無	有・無	選定発行者名		従来の発行者名	日本文教出版
-----	--------	---------	-----	--------	--	---------	--------

発行者 観 点		開隆堂出版	日本文教出版
1 学習指導要領との関連		・資質や能力を整理して学習の目標が示され、学習を振り返ることができるように編集されている。	・制作する喜びを味わうことを大切にして発達段階に応じ、基礎・基本を習得できるように編集されている。
2 あいちの教育の基本理念		・日本の美術作品や伝統技術を資料として取り上げ、創造活動に生かす工夫がなされている。	・全学年に道徳との関連を示している。自他の人権・存在を尊重し合う精神を育もうとする意図が見られる。 ・外国の子どもの作品も扱っており、国際社会への関心を高めようとする意図が感じられる。
3 内容等	(1) 内容の選択	・様々な場面における児童作品の飾り方・展示の工夫を例示し表現と鑑賞の関わりをもたせている。 「みんなのギャラリー」では日本各地の伝統と文化にふれて、そのよさを味わうことができる。	・表現の題材においても、「学習のめあて」に「見たり感じたりすること」を設定し、自他の表現のよさに気付くことができる。「活動のあとで」という吹き出しの中で感じてほしいことを子どものつぶやきで表現している。 ・作品の展示の仕方を具体的に示し、鑑賞との関わりをもたせている。
	(2) 内容の程度	・児童の生活体験に関連した材料を取り上げ、友達や地域と関わることができるように配慮されている。 ・「道具箱」「パレットコーナー」で、技法・表現の手助けをしている。	・身近な自然や自然材料を積極的に取り入れ、学校や地域の特性に対応できるよう工夫されている。多様な活動事例が紹介され、「材料と用具」にも詳しく使い方が示されている。
	(3) 内容の構成	・児童作品や活動している写真を掲載し分量、配合が適切である。伝統工芸や屋外展示が紹介され、学校や地域の実情にも対応している。	・児童が発想や構想する姿を掲載しコメントを加えることで学習の内容がより捉えやすくなっている。季節を意識する題材を取り上げられている。
4 表記・表現及び使用上の便宜等		・題材名に児童の心を捉える工夫が見られ、学習の目当てが分かりやすく示されている。育てたい力が三つのマークで表示され、ねらいが明確でわかりやすくなっている。	・導入の工夫により、表現活動の意欲を促すとともに、目次に写真を取り入れるなど、学習内容を十分理解できるように配慮されている。学習の内容や主な用具がマークで表示され、わかりやすい。
5 印刷・造本等		・A4サイズ。1年～4年は45P構成で5・6年は47P構成。一部が片ページ構成となる。	・A4サイズより縦2cm短いレターサイズ。全学年57P構成。ほぼ全てに渡って見開き構成であるため見やすい。

図工1